

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
先入先出法による原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
建物附属設備、車両運搬具、什器備品 ……定率法によっている。  
ソフトウェア ……定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
賞与引当金 ……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
退職給付引当金 ……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。  
なお、役員退職慰労引当金についても当該科目で計上している。
- (4) 消費税等の計算処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	14,123,200	3,267,000	0	17,390,200
特定預金	387,370,000	0	3,870,000	383,500,000
小 計	401,493,200	3,267,000	3,870,000	400,890,200
合 計	501,493,200	3,267,000	3,870,000	500,890,200

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、以下のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
小 計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当預金	17,390,200	—	—	(17,390,200)
特定預金	387,370,000	(0)	(387,370,000)	—
小 計	404,760,200	(0)	(387,370,000)	(17,390,200)
合 計	504,760,200	(0)	(487,370,000)	(17,390,200)

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおり (単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	7,279,407	3,295,883	3,983,524
車両運搬具	1,563,403,475	1,276,594,043	286,809,432
什器備品	5,129,089	3,707,977	1,421,112
ソフトウェア	16,646,090	9,550,954	7,095,136
合 計	1,592,458,061	1,293,148,857	299,309,204

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
JKA補助金	財団法人JKA	—	62,947,500	62,947,500	—	—
合 計		—	62,947,500	62,947,500	—	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。  
(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
検診車の減価償却費	61,920,101
指定寄付金の当期使用分の振替	80,365,452
経常外収益への振替額	0
合計	142,285,553

7 関連当事者との取引の内訳

該当事項なし

8 その他

該当事項なし